

「デジタル・メディア・シティ(DMC)」について

ソウル駐在員事務所

洪承元

韓国国内における最近の開発プロジェクトの中で、ソウル市^{マポ}麻浦区^{サンアム}上岩地区の Digital Media City(デジタル・メディア・シティ、通称:DMC)が注目を浴びています。DMC とは、ソウル市が 2015 年の完工を目標に、^{サンアム}上岩地区に 57 万平方メートル規模で造成している新環境最先端情報・メディア産業団地のことです。この地域は 2002 年日韓共催サッカーワールドカップの競技場建設などを機に開発が進められてきましたが(1 期事業)、今年 2 月、ソウル市は 2 期事業として、2014 年までに DMC 内に大規模映画撮影セットを備えた韓国版ハリウッドを造る計画を発表しました。

韓国は「IT 大国」と呼ばれているものの、研究教育施設、創業支援施設、運営支援施設といった最先端のビジネスインフラの開発では、他の先進国に遅れを取っているのが実情です。そのため、最新の情報通信インフラを整えた DMC の建設にとりかかり、世界的な情報メディア企業のソウルへの誘致に全力を挙げています。

【DMC の概要】

場所 : ソウル市麻浦区上岩地区
投資額 : 1 兆 700 億ウォン (約 856 億円)
敷地面積 : 569,925 m²
完成予定 : 2015 年

中心ビジネス :

- ・ メディア及びエンターテインメント関連産業
... 放送、映画、アニメーション、ゲーム、音楽、デジタル教育
- ・ ソフトウェア及び IT 関連サービス

DMC 内の主な施設

- ・ 情報・メディア・IT 関連 先端ビジネスセンター
- ・ 産学協力研究センター
- ・ 外国人長期滞在型の賃貸アパート
- ・ スタンフォード・ホテル・コリア (2011 年 10 月完工予定)
- ・ 米国 Dwight School ソウル分校 (2012 年 9 月完工予定)
- ・ アニメーション・ゲームセンター (2012 年完工予定)
- ・ 映画撮影セット、国内最大規模のコンピューターグラフィック(CG)制作施設、韓流体験館などの映像文化団地 (2013 年完工予定)

など

【外国人及び外国系企業のメリット】

土地・建物の長期賃貸(50年)支援、外国人投資区域指定により、租税減免
年間4%の低利子で、土地買入れ金の長期分割返済が可能(20年)
国税と地方税の7年間免税及び以降3年間50%減免
外国人専用賃貸住宅及び国際学校等のインフラが整備



デジタル・メディア・シティ（完成予定模型）



DMC内のデジタル・パビリオン

既にこの地域にはメディア・IT関係企業約300社、2万2千人が勤務しており、売上規模は12兆ウォン(約9,600億円)に上ります。完成予定の2015年には約880社の企業の入居、約6万8千人の雇用創出、年間売上35兆ウォン(約2兆8千億円)が見込まれています。2010年12月末に全線開通した仁川空港鉄道もこのDMC団地を經由するため(仁川国際空港 DMC ソウル駅)、ソウルの新しい観光名所として期待できそうです。

参照：為替1ウォン=0.08円にて換算